

付属資料-1. 第3回 川越市初雁公園基本計画審議会指摘事項とその対応

項目	発言者	番号	指摘事項	指摘事項への対応	
第2回審議会の指摘事項とその対応について	公園利活用	委員	1	<ul style="list-style-type: none"> 流鏝馬を春・夏・秋に行うイベントとして提案しているが、上戸の河越館跡で行っている既存の流鏝馬との調整はしているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 初雁公園における様々な利用の可能性を検討し、拡げていくなかで、初雁公園内に流鏝馬が実施可能なスペースを確保したいと考えている。 なお、流鏝馬の実施にあたっては、様々な状況の中で検討する必要があると考えている。
	富士見櫓跡	委員	2	<ul style="list-style-type: none"> 富士見櫓跡地については、事業開始から10年以上経過しており、中期ではなく短期で次の段階の調査及び検討を進めるべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 短期では、富士見櫓跡を安全に見学できるように環境整備をし、中期に、復元の技術的な課題等を含め検討を進め、復元の可否も含め方向性を導き出し、櫓跡の整備を進める。 なお、本審議会においては、県指定史跡である文化財保全の観点の課題等について共通認識を持ったうえで、中期に検討し、その検討結果に基づき整備をしていくことを明確にする。
			3	<ul style="list-style-type: none"> 初雁公園は面的な整備、富士見櫓は点的な整備で、本丸御殿周辺整備で見栄えの良いものができるのかという懸念がある。 	
		委員	4	<ul style="list-style-type: none"> 長期の市制100周年から次の100周年に向けて、富士見櫓を復元するというのは、あまりにも長すぎる。 	
		会長	5	<ul style="list-style-type: none"> 財政や補助金の問題もあるため、然るべき準備を行って進めていくことを含めると、富士見櫓の復元を中期の10年後に実施できる可能性は極めて低いだろう。しかし、復元の強い要望があることもよく分かるので検討する。 	
	川越藩の舟運	委員	6	<ul style="list-style-type: none"> 江戸の発展には、川越藩の舟運が大きく貢献している。川越が発展したのは江戸時代の舟運が関係しているため、歴史のところを強く印象づけて、大いに広めてもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 史跡川越城跡と舟運は、直接的な関係はないが、川越の発展には舟運が関係していることから、仙波河岸史跡公園等と連携するなどし、川越藩と舟運についても情報発信をしていく。
	武道館の位置づけ	委員	7	<ul style="list-style-type: none"> 武道館の位置づけについて教えて頂きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 武道館は耐震工事をし、継続して使用する。また、今回の公園基本計画では武道館敷地は含めていない。基本計画説明書をまとめる際には、前提条件として、武道館は今回対象外であり、当面、当地に存続することを明確にする。
基本計画図(案)について	遺構等の保存活用	委員	8	<ul style="list-style-type: none"> 新曲輪の旧川越城建物内について記録保存するとあるが、通常史跡では建物だけでなく、土塁以外にも旧地形を埋めている盛土も記録保存の対象になるという認識である。記録保存をすることにより、慶応3年以前の状況が分かることもある。 	<ul style="list-style-type: none"> 建物、土塁、堀含め、旧地形を埋めている盛土も記録保存の対象として検討を行う。
		委員	9	<ul style="list-style-type: none"> 復元ポイントとして慶応3年の記録が一番多いため、博物館と連携するなどして、前後の歴史や歴史上の人物も含めて見せ方を検討してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 旧状の復元、視覚化、記録保存など遺構等の保存活用にかかわる情報発信や学習展示などは、博物館と連携し、伝え方を工夫する。
	土塁	委員	10	<ul style="list-style-type: none"> 園路より土塁の部分がカットされているのは、やり過ぎなのではないか。現在の計画では、園路側から土塁が見えるようになっているが、本来江戸時代は、本丸御殿を見せないために土塁を配置していた。 	<ul style="list-style-type: none"> 現況の断面と当時の遺構との関係が不明であるため、確認調査をする必要がある。その結果、遺構である場合は保存を前提とする。
		委員	11	<ul style="list-style-type: none"> 三芳野神社前の土塁は、木が生い茂っている部分について、伐採する計画はないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 土塁にある樹木については、基本的に土塁等の遺構の保存や維持管理も考慮して検討し、植栽計画に反映している。
		委員	12	<ul style="list-style-type: none"> 土塁を当時の高さに復元することは必要だと思う。本丸御殿を見せるために土塁を低くするのではなく、一部分だけ当時の高さに復元するなどの工夫をしてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 北門から続く土塁については、往時の姿での復元をすることを基本として検討を行う。
	会長	13	<ul style="list-style-type: none"> 初雁球場の整備断面図を事務局に探してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 国会図書館、埼玉県文書館等にある蔵書データを調べ、閲覧等を行ったが、発見できなかった。引き続き、調査を続ける。 	
	駐車場	委員	14	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場は地下に設置してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 概算で事業費を算出したが、膨大な費用になる。また、遺構の保存の観点から大規模な建築物は困難である。
		委員	15	<ul style="list-style-type: none"> 公園内の駐車場は必要最小限であるべきで、国道254号東側にある駐車場をできるだけ利用してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 現状、初雁公園周辺には、博物館、美術館、武道館等の公共施設もあり、駐車場利用に対する需要は大きい、また、市としても中心市街地の渋滞対策、観光繁忙期の駐車場問題が

項目	発言者	番号	指摘事項	指摘事項への対応	
基本計画図(案)について	委員	16	• 公園内の駐車場台数を必要最小限にし、国道 254 号東側の観光駐車場の拡張や、あけぼの・ひかり児童園の跡地を活用することも検討してほしい。	ある。これらを踏まえたうえで、適当な数を設置していきたい。また、柔軟に対応できるよう、広場を臨時駐車場等として利用できるような、配慮を行っていく。基本計画報告書作成の際には、駐車場利用台数の考え方に対する概念図等を添付する。	
		17	• 武道館の駐車場台数が少ないため、駐車場を確保してほしい。		
		18	• 国道 254 号の反対側の駐車場から来る人のために歩道橋をかけられないか。		• 国道 254 号の反対側の駐車場については、観光客用であること、歩道橋については、道路付属物であることから、状況を注視し、観光部局、道路部局と必要性について協議していく必要がある。
	立ち寄り観光客数	委員	19	• 立ち寄り観光客数は、実状から乖離がある場合もあるので、データも含めて精査する必要がある。	• 今後、設計に向けては、実態調査や意向調査などにより、更に精査を行う。 また、広場を臨時駐車場として利用する計画にすることで、需要に柔軟に対応できるようにする。
			20	• 三芳野神社の改修工事が完了すると、利用者数が増加することが予測されるため、利用者数についてはもう少し多く見ておいた方が良さそう。	
			21	• 喜多院では多い時で観光バスが 5～6 台停まっているので、観光バス用の駐車台数が 7 台では少ないのではないか。	
		22	• 訪問者数についてのアンケート調査人数は、精度を高めることを検討してはどうか。		
	児童遊園	委員	23	• 児童遊園の計画地は、堀跡にかかっており、もともと堀跡だったことを伝えることもできるので、児童遊園の一部に水遊びができる空間を設けてほしい。	• 水遊び場として、遊具広場に徒渉池を位置付ける。 なお、整備にあたっては、遺構の保全措置を講じたうえで設置することを前提とする。 (説明資料 P 6 参照)
		委員	24	• 児童遊園はあるが、水遊びができる空間がないため、維持管理等が大変なのは理解しているが、設置してほしい。	
	公園利活用	委員	25	• ウォーキングは初雁公園だけでは狭いため、他施設等とも連携してジョギングコースを整備してほしい。	• 初雁公園内の芝生広場等の周回で 500m 以上のコース設定ができることから、整備においては、ジョギング等の利用も踏まえた整備を行う。なお、周辺施設等を巡るコースを設定し周知することについては、交通状況、道路状況等の安全性等も踏まえたうえで検討をおこなってまいりたい。 • 博物館、美術館等の周辺施設も含めた文化の拠点として、「市民の憩いの場」として、市民が落ち着いてと休息し、憩うことができるような、カフェ等のサービス機能の増強、導入を検討する。 (説明資料 P 11 参照)
		副会長	26	• 初雁公園を「市民の憩いの場」とする場合、何が憩いになるのか考える必要がある。毎日本丸御殿に行くことも考えられない。何か足りないのではないか。お茶を飲んだり、食事をしたり、売店程度では人は来ない。博物館、美術館等の周辺施設も視野に入れ、公園の中だけではなく、周辺施設も含めて考える必要がある。市民のために何ができるのか考えることによって、歴史的なものが生きてくる。	
	運営、維持管理	委員	27	• 市民が優先の公園と位置付けているので、「運営、維持管理に係る視点」において、2 番目の「にぎわい創出」と 4 番目の「市民参画」を入れ替えた方が良い。	• ご意見を踏まえ修正した。
	武道館	委員	28	• 武道館については、今後の計画を検討していくという文言を初雁公園基本計画の中に記載してほしい。	• 基本計画説明書をまとめる際には、記載について検討する。
	その他	委員	29	• 初雁公園を整備するにあたり、補助金の対象となるものをはっきりしてほしい。	• 都市公園事業では、基本的に公共性が高く、建設費を償却するに足りる程の使用料を徴取せず、物品販売その他の営利行為を営まないもので、かつ、仮設、備品的でないもの等が補助の対象となる。 また、本計画においては、個々に内容は判断していくものの、カフェ、売店は補助の対象とならない。(カフェ、売店の民間資金とすることで検討している。)
30			• 詳細設計を行う時期を知りたい。また、地下埋設物のことも考慮した植栽設計を検討してほしい。	• 本丸御殿周辺は、今年度測量を予定しており、来年度以降、基本設計等を予定している。実施設計は平成 32 年度に行う。設計時には、地下埋設物等と植栽計画との調整を図る。	

項目	発言者	番号	指摘事項	指摘事項への対応	
		31	<ul style="list-style-type: none"> 新河岸川は伏流水を水源にしているため、流れを遮らない配慮をしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後、設計段階で配慮していく。 	
		32	<ul style="list-style-type: none"> 山車蔵をどのように活用するつもりなのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 当面は、倉庫として引き続き活用する。今後も、文化財行政に資するような倉庫として利用を考えている。 	
		33	<ul style="list-style-type: none"> 本丸御殿前の道路を通り抜けができないようにすることは可能か。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活道路として使われているため通り抜けができないようにすることは難しいが、スピードが出ないような工夫や、道路の美化も検討する。 イベント時、通行止め等を行うことにより、エントランス広場との一体的な利用を可能にするため、身障者用駐車場、タクシールール等の位置を修正した。 <p style="text-align: right;">(説明資料 P 6 参照)</p>	
	段階的整備	委員	34	<ul style="list-style-type: none"> 運動公園から歴史公園への種別変更に伴い、初雁球場の移転は計画的に検討してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 段階的整備計画のうち、短期の中で検討を行うこととした。
		委員	35	<ul style="list-style-type: none"> 短期・中期・長期の段階的な計画を策定するために、図面と照らし合わせられるように整理する。 本丸御殿周辺の整備の際は、初雁球場が移転していないことを踏まえて検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 短期・中期・長期での整備が図面と照らし合わせられるように整理した。 短期整備で確保できる駐車台数を設定した。 <p style="text-align: right;">(説明資料 P 2 0 参照)</p>
			36		
		会長	37	<ul style="list-style-type: none"> 短期計画だけの整備だけでなく、将来の長期計画の内容を検討することが審議会開催の意義であることを理解してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 短期・中期・長期とステップアップする整備計画となるようにしていく。
まとめ	会長	38	<ul style="list-style-type: none"> 初雁公園の運動公園から歴史公園への方向転換は、利用者本位型から資源依存型に大幅な変更を伴うものなので、委員から様々な意見が出て良かった。初雁公園は、資源依存型公園であるが、ユーザーのことも考えなければならぬということなので、これらをフィルターにかけて、よりグレードアップした計画ができるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 資源依存型公園として「遺構等の保存活用」、ユーザーの視点からの「公園としての利活用」についてゾーン毎に整理しているが、その機能について、よりユーザー目線を意識した魅力ある施設になるよう、カフェ等の導入など民間事業者のノウハウの活用を検討することにした。 <p style="text-align: right;">(説明資料 P 1 1 参照)</p>	
		39	<ul style="list-style-type: none"> 富士見櫓は川越城にとって非常に大切な資源なので、本基本計画でも富士見櫓についてはふれておくべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> 初雁公園基本計画としては、県指定史跡である文化財保全の観点の課題等について共通認識を持ったうえで、中期に検討し、その検討結果に基づき整備をしていくことを明確にする。 <p style="text-align: right;">(説明資料 P 1 9 参照)</p>	
		40	<ul style="list-style-type: none"> 武道館については、防災上、災害時のことを考えた場合、大変重要な施設になる可能性があるため、基本計画としてそのことも考えておく方が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 武道館については、地域防災計画、防災施設としての位置づけはないが、貴重な屋内防災施設となる可能性も踏まえて、初雁公園との連携の可能性について検討する。 	